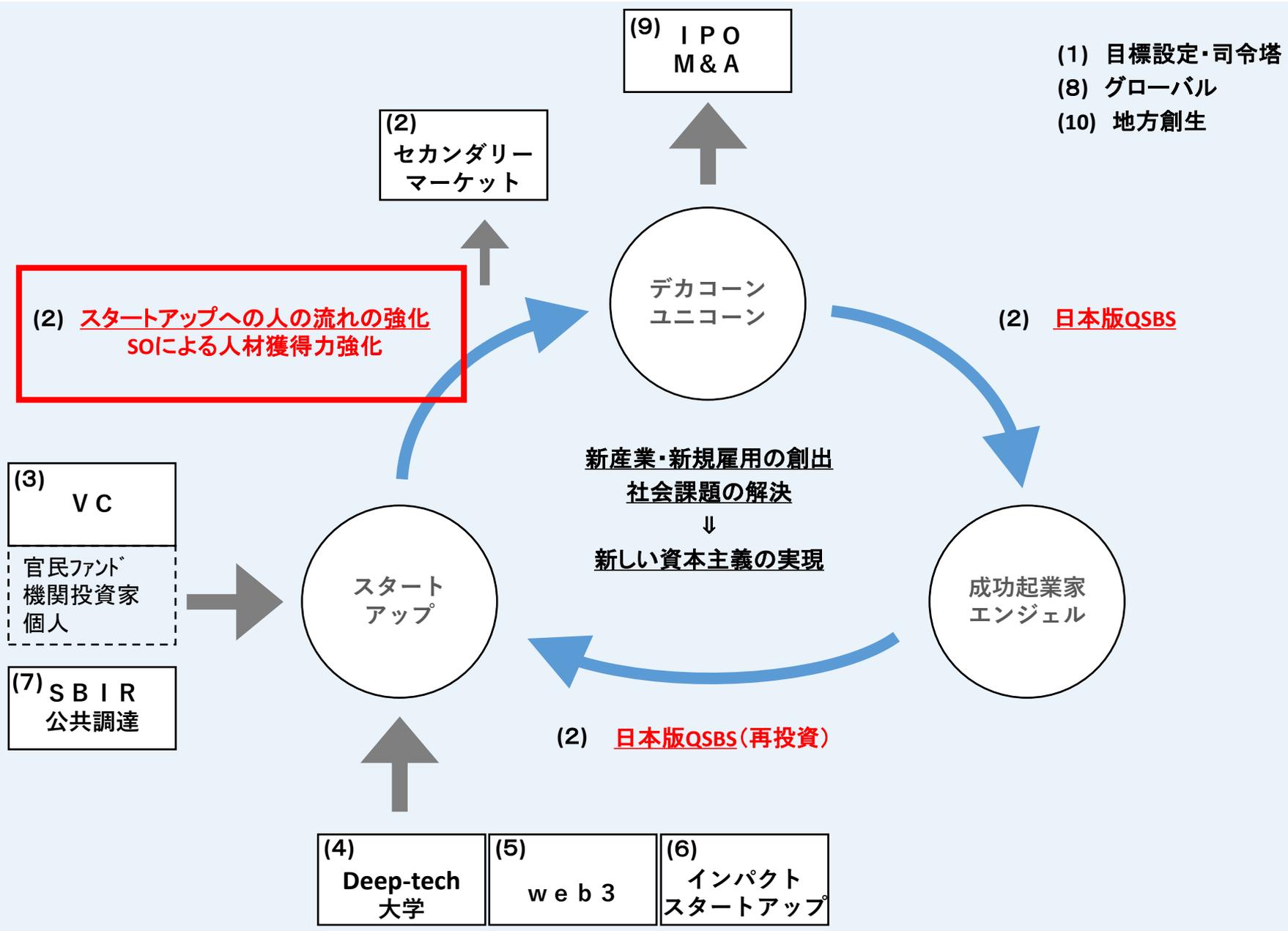


# スタートアップ育成5か年計画に向けた提言



# ストックオプション(SO)の役割

## 1. キャッシュを失うことなく従業員にインセンティブ(株式報酬)を付与

※ 特に、テック系スタートアップにおいてSOを積極的に活用

## 2. 従業員へのインセンティブ = 企業の成長

SO付与

従業員採用の際にインセンティブとしてSOを付与。

クリフ

契約条件として、権利行使できない期間を設定(1年間が一般的)。

バスティング

在職年・月数に応じて段階的に権利行使可能(4年間・48か月が一般的)。

権利行使

SO付与時に設定された行使価格を支払って株式を取得。

株式売却

自社の成長への貢献の対価として株式報酬を得る。

# 中間提言の概要

## (ストックオプション関係制度の日米比較)

	米国	日本 (現状)	日本 ( <b>改正案=提言</b> )
SO付与の仕組み (SOプール)	<b>柔軟な法制度</b> <ul style="list-style-type: none"><li>取締役会にてSO発行可能</li><li>SOプールの有効期限無</li><li>柔軟な書面決議</li></ul>	<b>会社法の制約あり</b> <ul style="list-style-type: none"><li>取締役会の権限が限定的</li><li>株主総会議決の効力は1年間</li><li>書面決議に全会一致が必須</li></ul>	<b>会社法改正</b> <ul style="list-style-type: none"><li>取締役会の権限拡大(SO価格等)</li><li>期間上限の撤廃</li><li>書面決議要件の柔軟化の検討</li></ul>
税制適格SO	<b>機動的な制度設計</b> <ul style="list-style-type: none"><li>未上場段階で権利行使可能</li><li>外部人材への付与に制限</li><li>権利行使上限\$10万(約1,300万円)</li></ul> ※英国の税制適格SOは権利行使の上限額なし	<b>利便性に制約</b> <ul style="list-style-type: none"><li>金商法業者による株式保管が必要</li><li>外部人材へのSO付与の認定制度</li><li>権利行使上限1,200万円</li></ul>	<b>適格SO税制改正</b> <ul style="list-style-type: none"><li>金商法業者への保管要件撤廃</li><li>特例措置を税制適格SOの本則に</li><li>上限額の大幅引上げ又は撤廃</li></ul>
株価算定 ルール	<b>株価算定ルールあり</b> <ul style="list-style-type: none"><li>普通株式の算定ルールあり</li></ul>	<b>株価算定ルールなし</b> <ul style="list-style-type: none"><li>普通株式の算定ルール存在せず</li></ul>	<b>株価算定ルール策定</b> <ul style="list-style-type: none"><li>普通株式の算定ルール策定</li></ul>
非上場株式 市場	<b>活発な取引</b> <ul style="list-style-type: none"><li>投資家要件、募集・勧誘、投資上限、 情報開示、事業者要件のバランスが取 れた制度</li></ul>	<b>限定的な取引量</b> <ul style="list-style-type: none"><li>左記項目の要件がいずれも厳格すぎ るとの指摘あり</li></ul>	<b>取引活性化に向けた制度改正</b> <ul style="list-style-type: none"><li>海外事例との比較の上、必要な制度 改正</li></ul>
有価証券届出書 会社登記における 個人情報	<b>個人情報に配慮</b> <ul style="list-style-type: none"><li>上場時の証券登録届出書において経 営層の住所は不要</li><li>企業情報として経営者の住所は不要</li></ul>	<b>氏名・住所等が公開情報</b> <ul style="list-style-type: none"><li>有価証券届出書ではSO保有者の氏名、 住所等を記載・開示</li><li>登記簿に代表取締役の住所を記載</li></ul>	<b>個人情報取扱いの見直し</b> <ul style="list-style-type: none"><li>インターネットによる情報アクセス性の 高まりを踏まえた在り方見直し</li></ul>